

令和4年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

音戸中学校区 校番 20 学校名 音戸中学校

<p>a 学校教育目標</p>	<p>&lt;小中一貫教育目標&gt; ふるさとを愛し、自律できる 児童生徒の育成</p> <p>志をもち、自ら動き、 たくましく生活する 生徒の育成</p>	<p>b 経営理念 ミッション・ビジョン</p>	<p>&lt;ミッション&gt;(学校の使命) 生徒・保護者・地域の期待に応える中学校教育の実現</p> <p>&lt;ビジョン&gt;(将来の学校像) ～連携・伝統・創造～ ○生徒に、学ぶ喜びと生きる夢を与える学校 ○職員に、責任と意欲を育む学校 ○保護者・地域に、元氣と文化を発信し続ける学校</p>
-----------------	---	------------------------------	--

<p>c 中期経営目標を踏 まえた現状(進捗状 況)と今年度の重点</p>	<p>学習習慣が定着していない生徒、生活習慣が不安定な生徒、目的意識の低い生徒が多い。 →「鍛える・励ます・つなげる」をキーワードに授業改善、教育活動の充実を図る。</p>
---	--

<p>育成すべき資質・能力</p>	<p>(1)知識・技能 (2)思考力・判断力・表現力 (3)協働的に関わる力 (4)地域の一員として関わる力</p>
-------------------	--

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3 年目)						自己評価						
重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標 値	9月			2月			
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価	
***	確かな学力 「自分の考えをも つ力」「自分を表 現する力」を主体 的に身に付けた 生徒の育成	生徒の自己評価 能力の育成	○生徒が自分自身を振り返る機 会を設定する。 ・セルフモニタリング法を活用 する。	○「目標を持ち、その実 現に向けて努力してい る」と回答する生徒の 割合	85%	64%	75%	C	66%	78%	C	
		ⓐ 生徒が主体的に 課題解決に取り 組む授業づくりの 推進	○考える授業づくりを推進する。 ・課題発見・解決学習等の授 業研究を行う。 ・ICTを効果的に活用した授業 実践を行う。	○課題発見・解決学習 等の研究授業を実施  ○教員の意識調査	年間 3回  75%					3回	100%	A
			○新聞を活用した「1分間スピー チ」を全校で行う。 ・自他のスピーチに対して、自 分の考えをまとめることを通 じて、生徒の情報収集力や 思考・表現力を育む。	○「1分間スピーチは役 に立つ」、「スピーチを 聞いて、考えさせられ たことがある」と回答す る生徒の割合	85%	73%	86%	B	63%	74%	C	
**	豊かな心・健やか な体 「人を大切にする 力」「チャレンジす る力」「体力を高 めようとする力」 を身に付けた生徒 の育成	地域協働活動の 推進	○OKP(音戸地域協働プロ ジェクト)活動を実施する。 ・ボランティアを募り、地域 行事に協力し参加してい く。	○OKP活動の年間実 施回数(1学期3回・2学 期4回・3学期3回を目標 とする)	年間 10回 以上 1学期 1回				2回			
		自己肯定感の 高揚	○学校体制で教育相談を全生 徒に実施する。 ・夢や目標意識させ、自身を持 たせる。  ○サオンドバッジ制度を活用し、 真面目な態度の生徒を表彰す る。 ・様々なことへ挑戦させたり応 募させたりしてしていく。 ・アメニティ環境の充実。	○「夢や目標がある」と 回答した生徒の割合	85%	66%	78%	C	70%	82%	B	
		体力における重 点目標(50m走) の達成	○走力を上げる取組を行う。 ・保健体育科、部活動(強化日 の設定)、学級活動(学期に 一回チャレンジマッチDayを 設定)等で取り組む。	○50m走の記録が全国 平均を上回る生徒の割 合 (毎学期実施)	男子 70% 女子 65%	男子 28% 女子 24%	男子 40% 女子 37%	D				
*	信頼される学校 「組織マネジメント を確立する」「公開 性を高める」	服務規律の遵守と マネジメントサイク ルを意識した実践	○服務研修に関する年間計画を 作成する。 ・学年毎に服務研修を担当し、 職員の当事者意識を高揚さ せる。	○年間計画通りの服務 研修の実施	1ヶ月 1回 以上	5ヶ月 5回	100%	A	10ヶ月 10回	100%	A	
		「働き方改革」の推 進	○職員の時間外勤務を削減す る。 ・部活動休養日の完全実施等 を行い、職員が生徒と向き合 える時間を確保する。	○時間外勤務 45時間未満/月  ○「生徒と向き会える時 間」が確保できている」と 回答する職員の割合	80%  80%	56%  70%	70%  88%	C  B	59%  78%	74%  98%	C  B	

【k:評価】  
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100  
C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60